

あいの広場

●お誕生おめでとう (敬称略) 4月届出分

(出生児)	(保護者)	(公民館)
坂 元 優 菜	和 久	外
H16. 3. 29生まれ		
有 村 真 菜	広 洋	紫 尾 下
H16. 3. 30生まれ		
吉 留 伸 春	太 郎	東湯田原
H16. 4. 7生まれ		
溝 川 統 仁	博 之	東湯田原
H16. 4. 9生まれ		
郡 山 凛	聡	広 南
H16. 4. 14生まれ		
野 元 麗 樺	浩 幸	大 俣
H16. 4. 17生まれ		
野 元 愛 華	浩 幸	大 俣
H16. 4. 17生まれ		
下大迫 優 海	隆 史	上下大迫
H16. 4. 21生まれ		

●おくやみ申し上げます (敬称略)

(死亡者)	(届出人)	(公民館)
櫛 山 サヅコ 72	軸屋律子	京 塚 原
福 満 ヒ ロ 87	昌 泰	市 場
恒 吉 ユキエ 94	山口宣子	上 手
平 木 マ リ 78	フミエ	鶴 宮 園
井 上 正 86	三重子	中 間

善意の灯火 (4月分)

●香典返し (敬称略)

(寄付者)	(公民館)
福 満 昌 泰 (故 ヒ ロ)	市 場
砂子田 徳 (故 テ ル)	紫 尾 下
山 口 宣 子 (故 恒吉ユキエ)	麓
平 木 フミエ (故 マ リ)	東

休日在宅医

6月 6日	木原医院 (外科)	52-2700
13日	薩摩郡医師会病院 (内外児)	53-0326
	河崎診療院 (産内) 樋脇町	37-2006
20日	相良医院 (内児)	53-0160
27日	溝口整形外科 (整形)	52-4668
	わかばクリニック (内科) 祁答院町	21-8890
7月 4日	国吉内科 (内科)	53-1451

世帯数と人口

4月30日現在住民基本台帳

世帯数	1,831戸	(前月比 + 1戸)
人 口	4,902人	(前月比 - 4人)
男	2,322人	(前月比 - 1人)
女	2,580人	(前月比 - 3人)



神崎氏と神崎寺 (神崎の地名について)

鶴田大角の国道脇の小山は神崎山と呼ばれ、応永八年の鶴田合戦のとき、鶴田方の出先陣営になっています。近くの橋を神崎橋と呼び、神崎前という地名もあります。それら神崎のことが、阿久根の八田文書にありました。桓武天皇の子孫で、平季基が九州の大宰府長官になり、その長男Ⅱ伊佐平次兼輔は、佐賀の吉野ヶ里付近の神崎庄の領主でした。そして、伊佐氏とか神崎氏を名乗っていました。

兼輔の子Ⅱ神崎兼重は、文治の頃、大角・鶴田・川内方面の領主となっています。その時、鶴田に五明院神崎寺を建てたということです。今から820年昔ということになります。神崎というのは、神崎兼重以後の地名と考えられます。神崎兼重から何代かは神崎姓ですが、後に莫根氏となり、阿久根姓に変えて阿久根地方の豪族になっています。道路脇の記念碑の上の方に神崎寺の僧侶墓があります。これは、後年、光沢威光座元禪師(墓は上手の井上武則

氏の裏山にある)が、坊津一条院の末寺として、五幣山神崎寺を建てた後のものです。その後、26代ばかり続いたようですが、大角にあるのは、妙慶禪定尼、権大僧都真珠、権大僧都盛信大法印らの石塔のほか、15、6基の五輪塔があります。ちなみに、兼輔の弟の6人が、河辺氏、給黎氏、阿多氏、別府氏、鹿児島氏、頼娃氏、先祖となっています。川辺の磨崖仏は、この河辺氏の子孫の人たちが作ったものとされています。



神崎寺供養塔

